

船舶事故等調査報告書

平成22年12月16日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010門第136号	
事故等種類	座洲	
発生日時	平成22年8月15日（日） 02時45分ごろ	
発生場所	大分県日出町日出港 別府港日出松ヶ鼻2号防波堤灯台から真方位148° 770m付近 (概位 北緯33° 21.5′ 東経131° 32.5′)	
事故等調査の経過	平成22年8月19日、本インシデントの調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	船種船名、総トン数 ヨット ^{カズエ} KAZUE、5トン未満 船舶番号、船舶所有者等 291-14820大分、個人所有	
乗組員等に関する情報	船長、二級小型船舶操縦士・特殊・特定	
死傷者等	なし	
損傷	なし	
事故等の経過	本船は、船長1人が乗り組み、約1.2mの喫水で、日出港 ^{とがり} 尖地区南西方で錨泊中、下げ潮により、平成22年8月15日02時45分ごろ、センターボードが浅所に接触した。 その後、本船は、上げ潮を待って自力で尖地区に入港した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南西、風力 1 潮汐：下げ潮の中央期	
その他の事項	錨地の水深は、約1m未満であった。 日出港における高潮：8月14日23時12分 255cm 8月15日12時03分 235cm 低潮：8月15日05時39分 66cm	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし 本船は、日出港尖地区南西方沖で錨泊する際、船長が、潮汐及び水深を確認せず、陸岸との距離だけを頼りに投錨位置を決定したものと考えられる。 船長は、尖地区付近に浅所があることを知らなかったものと考えられる。
原因	本インシデントは、夜間、本船が、尖地区南西方沖で錨泊する際、船長が潮汐及び水深を確認しなかったため、センターボードが浅所に接触したことにより発生したものと考えられる。	